リウマチ性疾患のリハビリテーション指導記録



指導患者名簿の左 端にある患者番号

(1)

該当するものすべてに☑してください。					
年 代	70 歳代		性 別	\square	男 口 女
施設名 リウマチ性疾患 診断名	ザイダンクリニック RA		転 帰	□ 総続中 止院 亡 □ □	令和○○年 1月
合併症名 (関節外科治療を 含む)	高血圧	リハビリテー ション区分	□院 内 ☑外 来 □その他	職業	無職
既往歴		□炎症性背部痛 □大腸憩室症		□悪性腫瘍 □その他	□心不全 □肝炎 □無し
診断(診断日:罹患関節(腫)□肩関節☑手指□足関節	□昭和・□平成・☑令和・ 脹又は圧痛)□肘関節 □手関節□股関節 ☑膝関節□足趾足底 □その他	î	血液の検査 ☑リウマト □抗 CCP 抗 □抗核抗体		☑CRP 上昇 ☑赤沈 亢進
治療(上記診り 薬物療法 経口 DMARDs □イグラチ □サランフロリ □ブシラミ ☑メトトレ □その他(・モド ルファビリジン ムス ン ・キサート)	生物学的製剤 □TNF 阻害 □IL- 6 阻等 □T 細胞共 □JAK 阻害 □JAK 阻害 □副腎皮質 □NSAIDs □その他(葉 害薬 刺激阻害薬 剤 ステロイド	ステロイド剤など)
プア・□OT 処方 プ評価 ②関節可動域運動 ②筋力増強運動 □姿勢指導 □歩行練習 □装具療法 □手術前後 □スプリント療法 ②ADL・IADL 指導 □生活支援用具の対応 □住環境整備 □その他() 【実施内容と成果】令和○○年 10 月より手両側手関節痛(運動痛)とこわばり出現。やがて両側 膝関節痛出現し、徐々に歩行時に痛みが強くなり当院を受診した。RA 発症後まもない症例であり、 RA の疾患の概要について担当医からの説明を補完する内容で行い疑問に対して応えた。当クリニックでの治療方針が決まった段階で、担当医を含め各種医療職による症例カンファランスを行い、症例に個別化した指導(RA としてどの時期にあるか、治療内容の確認、薬剤コンプライアンスの徹底、必要なリハビリ、日常生活上の注意など)を行った。理学療法の目的は、膝関節痛の疼痛コントロールとした。【実施内容の詳細】① 膝に対する温熱療法、② 関節可動域練習、③ 軽負荷でのエルゴメータでの持久力運動、④ 自重を用いた下肢筋力運動、⑤ 杖歩行の指導 【成果】 現在、膝関節痛(VAS 5 → 2)は存在しているが自制内。外出時は関節保護のため杖歩行を行っている。					
備考	特記無し。 タ) の扱いは リウマチ性疾患のリハビリテーション指道患者名簿と同等とします				

※略語(病名・薬物名)の扱いは、リウマチ性疾患のリハビリテーション指導患者名簿と同等とします。 ※リハ実施内容(経過含)及び成果については、文字数を 400 文字から 500 文字で作成してください。 ※記載例を十分に参考にしてください。

※赤字のコメントは、作成の際には消してからご使用ください。

申請者氏名: 財団 理太郎